

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	音楽堂
指定管理者	公益財団法人神奈川芸術文化財団
指定期間	H23. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	文化課 ( )

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

**B**

<判定理由>

事業面においては、多彩な公演を実施し県民の鑑賞機会の拡充に努めるとともに、管理・運営面においては、設備や備品等の老朽化といった課題に適切に対応するなど、全体的に良好な管理運営状況であったと認められることから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	/	○	○	○	無	4/29公演「クラシックな休日」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
5月	6月8日	/	○	○	○	無	5/26公演「ル・ボ・エム・アルモニク」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
6月	7月10日	/	○	○	○	無	6/3公演「前橋汀子50周年記念コンサート」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
7月	8月10日	/	○	×	○	無	月報等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。
8月	9月10日	/	○	○	○	無	現場確認等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。
9月	10月10日	/	○	×	○	無	月報等によりモニタリング。業務は適切に実施されていた。

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	施設維持(1)開館日・時間についての柔軟な対応	・休館日の臨時開館を4日、早朝(午前8時台)からの開館を9日間行い、お客様のニーズに応じている。
2	施設維持(2)歴史ある音楽ホールを活用しつつ継承する施設管理の実施	・各種定期保守点検を的確に実施。 ・この上半期には、防音性を高めるための客席内木製扉更新工事、消防設備の一部であるドレンチャーの修理など、施設設備の長寿命化を図った。 ・その他細かな施設設備の不調、不具合についても速やかに対応し、利用者・来館者に快適な空間を提供できるよう職員一同日々対応している。

	提案内容	実施状況
3	文化事業(1)県民に開かれた音楽芸術活動及び鑑賞の拠点として、木のホールのお音響と空間を活かす。	<p><b>【4月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラ音楽の魅力と楽しさを紹介する独自プログラム「クラシックな休日をin音楽堂」を実施。出演は、飯森範親（指揮）、松田理奈（ヴァイオリン）、田村響（ピアノ）、東京交響楽団。入場者数632人。</li> <li>・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会 聖響音楽堂シリーズ&lt;モーツァルト・シリーズ&gt;」を実施。入場者数613人。</li> </ul> <p><b>【5月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ第8弾として、ヨーロッパで音楽性が高く評価されているフランスの古楽アンサンブル「ル・ボーム・アルモニック ヴェネツィア〜謝肉祭（カーニヴァル）の街のざわめき」を実施。入場者数486人。</li> <li>・共催公演「第28回かながわ音楽コンクール ヴァイオリン部門本選」を実施。小〜高校生38名が参加。</li> </ul> <p><b>【6月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後日本を代表するヴァイオリニストの演奏活動50周年を記念し「前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル」を実施。入場者数877人。</li> <li>・音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ第9弾として、人気実力ともに現代を代表するふたりのソリストによる「マリオ・プルネロ&amp;ファジル・サイ デュオ・コンサート」を実施。入場者数713人。</li> <li>・共催公演「第55回神奈川県合唱祭」（入場者数のべ3500人）、「ダンスカナガワフェスティバル」（入場者数のべ700人）を実施。</li> </ul> <p><b>【7月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と伝統を誇る大学聖歌隊の最高峰「ケンブリッジ大学セント・ジョンズ・カレッジ聖歌隊コンサート2012」を実施。入場者数537人。関連企画として同聖歌隊音楽監督アンドリュー・ネスシンガ氏による「合唱指揮者・指導者のための公開セミナー」を実施。入場者数268人。</li> <li>・共催公演「神奈川フィル 聖響音楽堂シリーズ」を実施。入場者数655人。</li> </ul> <p><b>【8月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラ公演と様々な関連企画によって子ども・青少年への音楽体験を提供する「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ!」を実施（入場者数578人）。</li> <li>・共催公演「第79回NHK全国学校音楽コンクール神奈川県コンクール」（参加人数4日間でのべ4950人）、「第55回神奈川県合唱コンクール中学・高校の部」（参加人数のべ1100人）を実施。</li> </ul> <p><b>【9月】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共催公演「第22回神奈川オペラフェスティバル第1夜 オペラ・ガラ・コンサート オペラで巡る世界の旅 vol.2」（入場者数580人）、「第55回神奈川県合唱コンクール（大学、職場、一般の部）」（入場者数のべ800人）を実施。</li> <li>・公演の制作過程や当日の様子などをホームページブログ「音楽堂ほぼ毎日日記」で情報提供。NHK横浜放送局FM番組等にプロデューサーが出演するなどして、一般県民への広報にも努めている。</li> </ul>

4	文化事業(2)子ども・青少年への音楽体験を積極的に提案する企画を実施	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・青少年を対象に主催・共催公演で、3回にわたる公開リハーサルを実施。近隣の小学生、県立高校生及び引率教諭ら、計430名が鑑賞。</li> </ul> <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜市立松本中学校から2年生4人の「職場体験」を、1年生3人の「職業インタビュー」を受け入れ。</li> <li>「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」関連企画として、アウトリーチ公演「オーケストラがやってきた！in中井町」（於中井町立中井中学校）を実施。出演は、金聖響（指揮）神奈川フィル。中井小学校、井ノ口小学校、中井中学校の生徒・保護者ら計443人が鑑賞。</li> </ul> <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ケンブリッジ大学セント・ジョンズ・カレッジ聖歌隊コンサート2012」での関連企画「公開セミナー」に、県立多摩高校及び横浜雙葉学園聖歌隊がモデル合唱団として参加。</li> </ul> <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」の関連企画として、バックステージ・ツアー&amp;ミニ・コンサート（参加人数79人）、公開リハーサル&amp;指揮者との交流ワークショップ（参加人数116人）、公演当日の公開リハーサル（52人）、ホワイエでの楽器体験コーナー、終演後の出演者との交流会、4日間にわたるジュニア・スタッフ養成講座（参加人数13人）を実施。また本公演当日は楽器体験コーナーや、終演後の出演者との交流会を実施。</li> </ul>
5	文化事業(3)外部資金の確保に努める。	<p>1. 法人賛助4,555千円、個人賛助240千円、広告料収入550千円、チケット販売収入128千円 ※財団全体での数値</p> <p>2. 助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業（5年継続の2年目）5,696千円</li> <li>芸術文化振興基金（地域文化施設）1,000千円（音楽堂で聴く聲明）</li> </ul>

#### 4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		177,782※	—	—	—	—	—
予算額	前年度	174,182	34,300	39,627	248,109	248,109	0
	上半期	76,695	17,148	19,777	113,620	113,620	0
	下半期	97,487	17,152	19,850	134,489	134,489	0
	今年度	174,182	34,600	43,026	251,808	251,808	0
	上半期	85,121	17,601	13,619	116,341	105,978	10,363
	下半期	89,061	16,999	29,407	135,467	145,830	▲ 10,363
上半期実績額	4月	7,154	2,370	229	9,753	4,610	5,143
	5月	16,211	2,638	27	18,876	17,884	992
	6月	19,529	2,552	2,888	24,969	25,210	▲ 241
	7月	14,888	4,124	3,606	22,618	24,469	▲ 1,851
	8月	10,195	2,216	5,549	17,960	15,686	2,274
	9月	17,144	3,701	1,320	22,165	18,119	4,046
	今年度 上半期合計	85,121	17,601	13,619	116,341	105,978	10,363
	前年度 上半期合計	76,695	15,486	2,422	94,603	88,424	6,179
	対前年度上半期比				23.0%	19.9%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

※指定管理者募集時の募集要項において、平成23年度指定管理料の想定額として掲載したものの。

#### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	0	
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	11,505 人	8,894 人	29.4 %
5月	9,406 人	10,070 人	▲ 6.6 %
6月	16,460 人	15,340 人	7.3 %
7月	17,857 人	16,105 人	10.9 %
8月	14,995 人	12,532 人	19.7 %
9月	13,184 人	13,341 人	▲ 1.2 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	151,100 人	83,407 人	76,282 人	▲ 44.9 %	9.4 %
今年度下半期計	— 人	— 人	89,853 人	— %	— %

※目標利用者数は年間目標利用者

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	※年間目標利用者数のみ設定のため。
③ その他特記事項		

※目標利用者数については、設定していない。

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	0	2	0	0	141	143
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	座席が狭い (13件)	建物構造上、改修が難しい。座面の修繕を段階的に実施し、座席自体の座り心地改善を図りたい。
	エレベーター・エスカレーターを設置してほしい (5件)	建物構造上、設置が難しい。丁寧親切ご案内するなどソフトで対応している。
職員対応	特になし。	
事業内容	特になし。	
その他	特になし。	

## 8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
4月20日	利用者の男性(80歳)が舞台上で合唱の練習中、足を踏み外して雛段から落下。	耳の後ろの付近から流血が認められたため、直ちに救急車を要請。	舞台上で雛段等の利用がある場合、特に高齢の利用者に対して安全に十分に留意するよう呼びかけ、注意を促す。

## 9 随時モニタリングの実施状況

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
( )		
( )		
( )		

## 10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

<p>○事業面においては、多彩な公演に加え、子ども・青少年を対象とした体験型オーケストラ公演を昨年に続き実施した。また、主催公演の関連企画「合唱セミナー」を実施するなど、県民の鑑賞機会の拡充に努めた。</p> <p>○管理・運営面においては、まもなく開館60年を迎えることから、設備や備品等の老朽化が課題となっているが、優先順位をつけて随時更新・修繕を実施するとともに、細かな工夫を重ね、施設の長寿命化に努めている。</p> <p>○引き続き、音響の良さや建築史的価値を有する施設の特徴を活かし、良質な音楽に触れる機会を提供するとともに、開館日や利用時間など可能な限り弾力的に対応するなど、利用者サービスの向上を図られたい。また、施設・設備の保守点検に万全を期し、利用者にとって安全、快適なホールであるよう、適切な管理運営に努められたい。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------